

DERIVENT-ACC- 1986-194639
NO:

DERIVENT-NUMER: 198630

COPYRIGHT 2006 DERIVENT INFORMATION LTD

TITLE: Clothes washing appts. - using steam ejector provided on upper cover of washing tub

PATENT-ASSIGNEE: SANYO ELECTRIC CO[SAOL]

PRIORITY-DATE: 1984JP-0249314 (November 26, 1984)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 61128995A	June 17, 1986	N/A	003	N/A

APPLICATION-DATE:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 61128995A	N/A	1984JP-0249314	November 26, 1984

INT-CL (IPC): D06F007/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 61128995A

BASIC-ABSTRACT:

A detachable steam ejector is provided on the upper cover of a washing tub contg. rotary blades. A flexible steam supply pipe is connected to the ejector, and connected by a hose pipe to steam generator containing an electric heater.

USE/ADVANTAGE - Soiled cloth can be cleaned effectively without spoiling.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/3

TITLE-TERMS: CLOTHING WASHING APPARATUS STEAM EJECT UPPER COVER WASHING TUB

DERIVENT-CLASS: F07

CPI-CODES: F03-J01;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1986-083961

④ 日本国特許庁(JP)

⑤ 特許出願公開

⑥ 公開特許公報(A) 昭61-128995

⑦ Int. Cl.⁴
D 06 F 7/00

識別記号 庁内整理番号
7038-4L

⑧ 公開 昭和61年(1988)6月17日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑨ 発明の名称 洗濯機

⑩ 特 願 昭59-249314

⑪ 出 願 昭59(1984)11月26日

⑫ 発 明 者 山 川 喜 一 郎 守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内
⑬ 出 願 人 三 洋 電 機 株 式 有 限 公 司 守口市京阪本通2丁目18番地
⑭ 代 理 人 弁 理 士 佐 野 静 夫

明 細 書

1. 発明の名称 洗濯機

2. 特許請求の範囲

(1) 回転筒を内装した洗濯槽の上壁に、スチーム噴出器を扉裏自在に取付けたことを特徴とする洗濯機。

3. 発明の詳細な説明

(1) 産業上の利用分野

本発明は、通常の洗いと部分洗いを可能にした洗濯機に関する。

(2) 従来の技術

水不溶性の汚れを通常の洗濯で落とそうとすると、時間ばかり取りに効果は上がらない。一方、汚れを効果的に落とす一つの手段として蒸気を吹きつけることが、特開昭52-146973号公報で知られている。所る手段を用いて水不溶性の汚れを落とす場合、蒸気が衣類全体に吹きつけられるので、全体としての汚れ落ち効果は上がるが、その汚れが底部的である時にはその洗濯を必要としないのに洗濯してしまうことになる。特に、洗

濯をあまりしない方がよいような物の場合、所る従来の洗濯機は利用しにくかった。

(3) 発明が解決しようとする課題

本発明は、部分的な汚れを極めて効果的に且つ簡単に落とすことができるようにするものである。

(4) 課題を解決するための手段

本発明は、洗濯槽の上壁にスチーム噴出器を扉裏自在に取付けることにより、課題を解決するものである。

(5) 作 用

即ち、スチーム噴出器を自在に設定し、或いは開かして洗濯槽の底部の汚れにスチームを吹きつけ、また必要によっては洗濯物を置いてから吹きつけ、その汚れを落とす。更に、上壁に付けたままスチームを槽内に吹きつけ、通常の洗濯時に洗濯水の循環を上げて洗淨効果を高めることができる。

(6) 実 施 例

以下、図面に基づいて説明すると、(1)は横断図内に洗濯槽(2)を内蔵した洗濯機で、上部前方にはコントロールボックス(3)を設けている。この洗

蒸機(1)は換機(1)内に独立した脱水管を設けても良く、また、脱機(1)を脱機脱水管としてその外周に外管を別途設けても良い。

(1)は脱機(1)の内底部に設けられた回転翼である。(1)は脱機(1)の上蓋、(1)は同じく中蓋で、欠々の蓋は蓋端で軸支してある。

(1)は上蓋(1)の裏面に昇降部材(1)を介して取付けられた支持板で、両側に支持片(1)を設けている。1)は支持板(1)によって移動して支持片(1)によって抜き出し自在に維持されたスチーム噴出器で、下部に多数のスチーム放出孔(1)を設け、この放出孔を中蓋(1)の上面に近接対向させている。1)はスチーム噴出器(1)に連通するスチーム供給管で、配管により可撓性を有しており、蒸機(1)を介して換機(1)内のスチーム発生器(1)に連通している。このスチーム発生器(1)は、コントロールボックス(1)の放水口(1)からホース(1)を介して給水され、これを電気ヒート(1)によって加熱してスチームを発生するものである。1)は放水口(1)の閉鎖用キャップである。

ても良い。この場合の作業時間は当然短縮されるので布いたみは軽減される。

尚、スチーム噴出器(1)を外して手で持ち、放出孔(1)に布を出てやれば、色々な箇所を拭き洗いをすることができる。

(4) 発明の効果

本発明に依れば、部分的な汚れを極めて効果的に且つ簡単に落とすことができ、しかも布いたみも少ないものであり、使用用途の広い実用的な洗機を提供できるものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明による洗機後の側断面図、第2図は洗濯時の側断面図、第3図は要部の分解斜視図である。

(1)→洗機、(1)→回転翼、(1)→スチーム噴出器。

出願人 三井電機株式会社

代理人 弁護士 佐野 静 夫

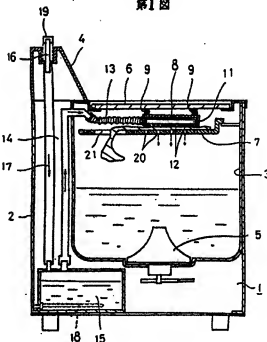
ここで、上記中蓋(1)は、スチーム放出孔(1)との対内面に通孔(1)を設けずると共に、蒸機(1)の軸支端(1)には大型の逃げ口(1)を設けている。

次に洗機動作について説明すると、まず、通常の洗機は洗機(1)内に所定位置まで給水し、回転翼(1)を連続的な反転サイクルで駆動するものである。

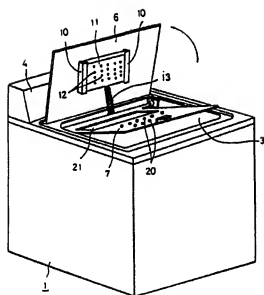
一方、極端的な汚れを落としたり、全体のシミ等を落とす場合は中蓋(1)上に衣類を乗せ、余分なところは逃げ口(1)に落し、上蓋(1)を閉鎖する。すると、スチーム噴出器(1)が衣類に昇降的に圧接し、ここでスチームを放出孔(1)→衣類に吹きつける。尚、必要により衣類には洗剤を塗布しておく。従って、部分的な汚れやシミ等はスチームの放出により除去され通孔(1)から抜け落ちる。厚手の衣類やその他の衣類で裏面に染めにくいものは、中蓋(1)に乗せ、上蓋(1)からスチーム噴出器(1)を外して手で持ち、そしてスチームを必要部分に吹きつけていく。

そして、スチームを吹きつけた後の衣類は、必要により洗機(1)内で通常の洗い、すすぎにかけ

第1図



第2図



第3図

